



校長室便り

南の風を感じて

倉敷市立琴浦南小学校

平成30年3月19日

No.23

思い出に残る「6年生を送る会」

3月6日(火)、6年生を送る会が開かれました。各学年や先生方からの出し物や心温まるメッセージやプレゼント、また、楽しいゲームなどがあり、琴浦南小学校の全員で素敵な時間を共有することができました。これまで下級生とよい関係を作り、頼もしいお兄さん・お姉さんとして慕われてきた6年生は、下級生からの感謝の気持ちをストレートに伝えられ、うれしさや満足感を感じるとともに、送られる側の寂しさも感じていたようです。



6年生のみなさん ご卒業おめでとうございます。

明日はいよいよ卒業式です。6年生の皆さんは、小学校の課程を立派に終えられました。ご卒業本当におめでとうございます。また、6年生の保護者の皆様には、長年限りない愛情を注いでこられたお子様のご卒業されることとなり、お喜びもひとしおのことと思います。



6年生の子どもたちは、琴浦南小学校を引っ張っていく機関車として、この1年間本当によくがんばりました。運動会や学芸会などの学校行事や、「きらりプロジェクト」などにおいて、下級生のお手本となる姿をたくさん見せ、「6年生のようになりたい。」と憧れの存在でした。また、山の学習や修学旅行などの校外行事においても、39人がいつも気持ちをそろえて行動し、学校の代表としてすばらしい活躍をしました。6年生のがんばりで、学校全体に活気が生まれ、明るく元気な琴浦南小になっていきました。そのがんばりに対して、大きな拍手を送りたいと思います。

また、6年生の子どもたちのこういった活躍やがんばりは、保護者の皆様のお支えがあったからこそだと思います。いろいろな面でご協力・ご支援いただきましたことに、感謝申し上げます。

花紅にして
美なりといへども
ひとり開くにあらず
春風来たりて開くなり



この言葉は、鎌倉時代、道元禅師が言われた言葉で、「花は赤色など色とりどりに美しく咲くけれども、自分ひとりの力で咲いたのではない。これまでの成長に必要な水、太陽の光など、天地の恵みや春の温かい風を受けて咲くことができたのである。」という意味で、自らの成長を支えてくれた周囲の人への感謝を忘れてはならないということを教えてくれています。

子どもたちは、いろいろなことにチャレンジし、成功や失敗の体験を繰り返しながら、たくましく育ってきました。そのことをほめてあげたいと思うと同時に、自分たちの成長があったのは、家族や友達、先生方や地域の方々の励ましや支えがあったからで、感謝の気持ちを忘れてはならないということを伝えていきたいと思っています。そして、「自分の成長が集団の成長につながる」「自分も誰かの役に立つ存在である」という自己有用感をもってほしいと願っています。

